

稲門やまと

発行所 早稲田大学大和稲門会
 発行人 会長 宮崎 顕
 事務局長 小澤 重晴
 〒242-0007 大和市中心林間2-16-35
 TEL・FAX 046-276-8841
 編集人 児浦義文、小澤重晴、村岡猛、加藤晴夫

早稲田大学大和稲門会会報第46号

会長挨拶

宮崎 顕 (S42 法学部卒)

☆☆☆ コロナ禍が続く中、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか ☆☆☆



日頃より会の活動にご理解、ご協力をいただき有難うございます。
 大和稲門会もコロナ禍により多くの行事が自粛を余儀なくされましたが、少しずつ活動を再開しております。

本誌「稲門やまと」は活動が減少し記事が少なくなった中で、会員の皆様から多くの投稿をいただき発行を継続してまいりました。また、屋外で行うハイキングやゴルフコンペは、コロナ禍の下でも活動を継続しておりましたが、最近では、屋内の活動であるカラオケ同好会、また、新たに発足した「やまとサロン」等、対面による活動も増やしております。

来る11月5日には、3年振りに神奈川県支部大会が行われることになっており、県下の稲門会の仲間との再会も楽しみです。

当会の第29回総会・懇親会も来る11月18日横浜うかい亭にて対面にて開催致します。残念ながら来賓はお呼びませんが、懇親会では会員相互の親睦を深める機会にしたいと考えております。現在事務局の方で趣向を凝らした企画を練っておりますのでご期待ください。久し振りに皆様とお会いできることを楽しみにしております。

今後とも大和稲門会に対して宜しくお願い致しますと共に、会員の皆様方の益々のご健勝を祈念いたします。

事務局便り

事務局

1. 行事・イベント

◇2022年4月～2022年9月に行われた行事・イベントは次の通りです。

- 2022.04.01 「稲門やまと第45号」の発行
- 2022.05.16 役員会開催(大和市生涯学習センター・シリウス6F会議室)
- 2022.05.19 「早慶懇親ゴルフコンペ」開催(小田急藤沢GC)
- 2022.06.01 春のハイキング開催(大船フラワーセンター、他)
- 2022.07.02 県支部幹事長・事務局長会議出席
- 2022.07.06 役員会開催(大和市生涯学習センター・シリウス6F会議室)
- 2022.07.23 夏季懇親会(コロナ感染防止のため中止)
- 2022.4月～7月 稲門祭記念グッズの販売(5人、合計44千円)
- 2022.5月～7月 早稲田大学応援基金への協力(8人、合計8万円)
- 2022.09.07 第一回「やまとサロン」開催
- 2022.09.16 役員会開催(大和市生涯学習センター・シリウス6F会議室)

◇2022 年の今後（10 月以降）の予定

2022. 10. 01	「稲門やまと第 46 号」の発行
2022. 11. 04	役員会開催（大和市生涯学習センター・シリウス 6F 会議室）
2022. 10. 23	2022 早稲田大学ホームカミングデー&稲門祭開催
2022. 11. 05	県支部大会開催、藤沢商工会館（ミナパーク）
2022. 11. 08	秋のゴルフコンペ開催（東名厚木 CC）
2022. 11. 18	大和稲門会第 29 回総会・懇親会開催（横浜うかい亭）
2022. 11. 22	秋のハイキング兼「やまとサロン」開催（早稲田大学キャンパスツアー）

2. 第 29 回（2022 年度）総会・懇親会は 3 年振りに対面で開催

総会・懇親会は、これ迄コロナ感染症の影響から自粛し、議案は書面表決で行ってきましたが、今年度の第 29 回（2022 年度）総会・懇親会は感染対策を十分講じたうえで、下記の通り開催致します。

今回は 3 年振りの対面形式の総会・懇親会であり、来賓はお招きせず会員同士の懇親主体の場と致します。素晴らしい会場で美味しい料理をいただきながら、各種のイベントを楽しみ、懇親を深めたいと考えておりますので、多くの会員の参加をお待ちしております。

記

開催日時：2022 年 11 月 18 日（金）16：00～19：30
場 所：横浜うかい亭 クリスタルサロン
大和市つきみ野 6-5-2 電話 046-276-5252
会 費：5 千円（役員は 1 万円）

3. 新たな同好会として「やまとサロン」を発足

今後当大和稲門会の発展を図るためには、会員の希望に沿った同好会づくりが不可欠である、との思いから、本年 9 月、新たな同好会として「やまとサロン」を発足し、第 1 回例会を 9 月 7 日に開催しました。

「やまとサロン」の運営は次の通りです。

(1) 会員の皆様より、下記の「活動テーマ」の中から興味のあるテーマを募集する

＜活動テーマ＞

- ① 各種学習会（PC, スマホの勉強会、健康・趣味の学習、読書会他）
- ② 芸術・文化観賞（美術、観劇、各種展覧会、陶芸他）
- ③ 名所・史跡散策、観光（庭園、公園、建築物、温泉巡り）
- ④ スポーツ観戦（早稲田スポーツ他）
- ⑤ 各種ゲーム等（麻雀、将棋、囲碁、他）
- ⑥ その他の会員からリクエスト

(2) 応募のあったテーマに基づき次回の活動テーマを決める

(3) 決定した活動テーマを会員にメール又はホームページで告知し、参加を呼び掛ける。

(4) 参加者は、大和稲門会員だけに限定せず、会員の友人、知人など広く募集する。

尚、11 月の「やまとサロン」は、秋のハイキングを兼ねて「早稲田大学キャンパスツアー」の予定です。

「やまとサロン」に関するお問合せは当会事務局までご連絡ください。

早稲田大学関連の情報

事務局

1. 「早稲田大学応援基金の発足」のお知らせ

早稲田大学では、より充実した教育を学生に提供できるよう、また教育と研究の質の向上を実現するための新たな募金として「早稲田大学応援基金」を 2022 年 4 月よりスタートしました。

早稲田大学では「世界に輝く WASEDA」の実現のために、

- ① 研究の早稲田
- ② 教育の早稲田
- ③ 貢献の早稲田

の3本の柱による人材教育と教育研究の質の向上を目指す改革を進めています。そのための財源作りとして「早稲田大学応援基金」を新たに設立し、応援基金の運用原資は永続的に保存し、その運用益を学生の育成を目的とした教育研究事業のために活用する計画です。

応援基金は校友生及び校友会からの寄付金を大きな財源と考えており、大和稲門会にも協力が求められております。(大和稲門会には既に8人の会員の寄付を実施しております。)

「早稲田大学応援基金」の詳細については、早稲田大学ホームページをご覧ください。

2. 第57回(2022年)ホームカミングデー&稲門祭の開催

2022年10月23日(日)早稲田アリーナにおいて、ホームカミングデーが開催されます。卒業後一定年数を経過した校友の皆様を母校にお招きして、大学の近況に触れて頂くと共に、懐かしい母校での秋の1日を楽しみいただく催しです。9時~15時に亘り、卒業年次に基づき3回の式典が行われます。対象者には、大学より招待状が送られます。

同時に、当日は10時より大学構内にて稲門祭が開催されます。稲門祭は、校友のための最大の行事で、当日構内では全国の校友会、稲門会主催による模擬店や各種イベント、講演会、音楽祭等が行われます。また、構内では、記念品の販売コーナーもあります。都合がつかう方は、是非稲門祭を見学されてみては如何ですか。

「2022年春のハイキング」の報告

2022年春のハイキングは6月1日開催、大船観音寺、大船フラワーセンター、龍寶寺を訪問しました。今回は、天気にも恵まれ久しぶりに12名の参加となりました。

(大船観音寺訪問)



JR大船駅近くにあり、普段電車から見ているものの、多くの参加者が訪問するのは初めてとの事、急な坂道を10分程登り境内に到着、そこから50段ほどの階段を上り白亜の観音像前に。さすがに大きい、半身像としては国内最大級、観音様をじっくり観賞した後、胎内も見学しお参り。皆さん感激した様子でした。



(大船フラワーセンター見学)

大船観音から20分程歩き、フラワーセンターに到着、園内見学前、大船駅で購入してきた大船軒の鰻寿司をいただく。食事場所の前の池にスイレンが咲き始めている。

食後、園内を散策、5月の中旬まではシャクヤク、ボタン、バラが咲き乱れていたが、当日はシャクヤク、ボタンは終り、盛りを過ぎたバラが残っている程度で、幹事として責任を痛感。花菖蒲を見ながらグリーンハウスの向かう。ここで熱帯植物の珍しい花々を見学、正面出入口で記念写真撮影。



(龍寶寺)

フラワーセンターから徒歩5分で龍寶寺を訪問。ここは玉縄城三代目城主北条綱成が開祖で、現在は曹

洞宗の寺院。玉縄城は北条早雲により築かれ、小田原城に次ぐ北条家の重要拠点として、徳川時代は本田正信、水野忠守の居城として重きをなしたが、1619年廃城となり、現在は清泉女子大学のキャンパス。

本堂でお参りのあと、玉縄民族資料館を見学し帰路に向かう。(記：幹事児浦)

参加者 石川、真鍋、菟場、水野、村岡、稲葉、小澤、関根、渡辺、佐竹、上原、児浦(幹事)

「2022年早慶懇親ゴルフコンペ」の報告

2022年5月19日(木)、小田急藤沢GCにて早慶懇親ゴルフコンペが開催されました。

当日は、朝から五月晴の絶好のゴルフ日和で、参加者一同白球を叩いて楽しい1日を過ごすことが出来ました。

成績は、優勝～3位を大和三田会に独占され不甲斐ない大和稲門会でしたが、成績発表パーティーでは懇親コンペの名にふさわしく、和気あいの雰囲気の中、参加者一同親睦を深めることが出来ました。

(記：幹事小澤)

大和三田会からの参加者(5名)

大和稲門会からの参加者(7名)：(石川、真鍋、渡辺、関根、橘川、南館、小澤)



スタート前の記念写真

会員からの投稿

卒寿に向かって 真鍋 藤正 (S35 法学部卒)

喜寿を過ぎ、八十路の道をたどりつつあるとき、「最近年下の訃報が目につく」と大和中学以来の親友がポツリとつぶやいた。以来、新聞を注意してみると納得。余生をいかに生きようかと初めて焦った。

曾祖父は、明治初期に四国から二隻の船に村民を乗せ北海道に渡り、樺戸郡で開拓事業に従事。40歳初頭には軍属の最高位を極めた父は、敗戦後は不遇だったが、日本中の「まなべ」姓に呼びかけて「全国まなべ会」を結成。全国有数の氏族会誕生。毎年何処かで開催する大会には百余名が参加して祖先を偲んでいるし、瀬戸内海の真鍋島には二千余名の氏名を刻んだ碑を建立した。

天の岩屋戸の前でストリップを踊った天兒屋命を始祖とする藤原姓真鍋氏の一人として、孫や曾孫に何も残さないでは自尊心が許さない？

温故知新と了孫の誰かが活用してくれたら幸いと、自分の国民学校一年から六年までの大連での奮闘記、「欲しがりません！勝つまでは！」と、戦時下の軍国少年目線で大日本帝国の盛衰を大連時代に限って書き残すことにしました。

娘や孫達は昔から小生には甘い、米寿の宴を直系の甥、姪にも呼び掛けて、大和駅周辺のイタ飯屋を貸し切りにして7月23日の誕生日に開催してくれました。生きていてよかった！

余生に望むことは3回目のホールインワン達成とエイジシュートを数回経験すること・・・
還らぬ思い出を心の中に抱きつつ、老兵は静かに消え去ります

学生時代の出来事 宮崎 顕 (S42 法学部卒)

学生時代「飛雄塾」という学習塾をやっていました。そこでは毎年夏に、塾のイベントとして丹沢への登山をしていました。メンバーは塾生80人くらいの内、登山希望者の60人ほどを7、8人ずつ分け、そこに教師というか私らの仲間が2人付いて、一つのグループとして登山をしていました。

ある年、一つのグループの中学生が塔ヶ岳に行く途中でマムシに噛まれるという事件が起きました。そのグループは即刻下山です。

その頃はスマホもないし途中の山の家に1人の先生が急いで駆け下り、病院に血清があるか救急車手配、家族への連絡などし、皆眠れず過ごし、無事を確認しました。とても緊張した一日でした。す。

やまと塾と私の近況 水野 昂子 (S35 文学部卒)

今年の「やまと塾、本公演」を8月末に終え、今はホッとしています。コロナにかかった塾生は??名で稽古の遅れが心配でしたが、なんとか乗り切りました。ご声援いただき、ありがとうございました。

さて次回の本公演は、来年9月初旬を予定しています。やまと塾の本道の一つ、創作オリジナル脚本です。私が脚本を担当します。題名は「楠と桜～穏やかな暮らしを求めて～」です。

大和にある、楠や桜の並木は美しく、人の心を優しくしてくれるといつも感じているので、そこに想を得ました。今執筆中です。また、是非、劇場へお運びください。

私のふるさと「波賀城蹟」 菟場 直一 (S39 理工卒)

私は兵庫県宍粟市波賀町上野に生まれ、私の実家は古くからこの地に住み着いて、現在15代目を継いでおります。その生まれ故郷にある波賀城蹟を紹介します。

波賀の町名に由来する城山は、山の姿も左右になだらかに流れ、山頂には「あすなろ」や「イヌシデ」の老木が年輪をかさねて暗い森を創っています。

城山といわれるだけに、山全体に郭から線状に作られ頂上へと続いています。

標高は458メートルもありますが、29号線のレベルが約250メートルですから、城山そのものは200メートル余りしかなく、森林浴をかねた手頃なハイキングコースとなっております。

平成6年史跡公園として発足しました。城跡近くに小型車の駐車場が出来ました。そこからなら頂上まで10分ほどで登れます。

毎年、墓参りで帰省するたびに、遠くからこの城山が見えると、「帰ってきたな！」と思う城山です。

コロナ禍で、ここ数年帰省、墓参りが出来ておりませんが、近々、帰省できることを望む今日この頃です。

自治会活動の楽しみ 渡辺 伸明 (S47 理工卒)



街道沿いの花壇作りの模様

社会人として都内通勤している時は、自治会活動などには無縁でしたが、現在は自治会、老人会などの様々な活動を通じて地域の皆さんと触れ合っています。具体的には、防犯パトロール、並木の遊歩道清掃、夏祭り、餅つきなどのイベント、新年会、お楽しみ会など様々です。

そのような活動の1つで、自治会長発案のもと、有志で「道守サポーター」を結成し、地元桜ヶ丘の国道467号線沿いの植栽帯に花を植えています。最初は、長年放置してはびこった竹や雑草の根の除去、土壌改良など大変でしたが、皆でこの花を植えたい、見たいという意見を基に、今では、歩行者が立ち止まってきれいな花々を楽しんでいます。

年2回ほど植え替え1年中楽しめます。

ホームカミングデーに寄せて 関根 実 (S46 商学部卒)

9月に入ってから大学から封書が届いた。
表紙には「ホームカミングデー開催のご案内」との表記が記されている。
そうか！卒業後50周年の節目の年が過ぎたことに気づき、感慨深さを覚えた。
改めて考えるに、還暦、古希と一年が年々早く過ぎていくことを実感せざるを得ない。
そうは言いながら、一年一年悔いを残さないように生活していくことが、大事なことを再認識している。

健康米寿をめざして頑張ります 児浦 義文 (S43 法学部卒)

今年は新年早々喜寿を迎え、4月には結婚50周年を迎えた。
金婚式のお祝いは子供たちに任せ、記念旅行は最後の海外旅行にと妻の好きなハワイ旅行を予定したがコロナ禍で国内旅行に切り替え、5月下旬2泊3日で実施した。
喜寿の後は傘寿があるが、やはり米寿を目指したいものだ。父は85歳、母は104歳と比較的長寿の家系なので、ある程度節制すれば可能と思うが、やはり健康米寿でなければ意味がない。
わが大和稲門会には今年米寿を迎える4人の先輩方がおられる。いずれもお元気で豊饒としておられる。この敬愛する4先輩にあやかり健康米寿を目指して日々精進していきたいと思う今日この頃だ。

「私のお薦めのお店、場所、本」紹介コーナー

私のお薦めのお店（ふぐ料理、玄品 南林間） 児浦 義文 (S43 法学部卒)



そろそろ「ふぐ」の美味しい季節になりました。

大和市内で数少ないフグ料理専門店があります。「玄品 南林間」というお店です。40年の歴史と80店舗を運営する玄品グループのチェーン店です。南林間駅のすぐ近くにあり、こぎれいで清潔な感じの店で、美味しいフグ料理がリーズナブルの価格で食べられます。店長の上野氏は若いオーナー経営者で感じが良く従業員もよく教育されています。

昨年家族の忘年会で利用し、コース料理をいただきましたがメニューが豊富で「焼きフグ」は最高でした。一度行ってみる価値があります。

◇コースメニュー 4500円～7500円

◇テーブル数12 席数50席 営業時間16時～22時（火曜日定休）

◇大和市南林間2-11-16 ザレジデンス南林間1F 046-273-3929

◇南林間駅西口（徒歩1分）横浜銀行南林間支店裏手 駐車場は2台

大和市「花のお寺＝常泉寺」の撮影スポット

村岡 猛(S43 理工卒)



春はみつまた、秋は彼岸花で知られている「清流山常泉寺」(大和市福田 2176)の秋を撮影散歩してみよう。小田急江ノ島線高座渋谷西口下車でゆっくり歩いて約10分で到着します。乗用車でも駐車場が完備されていて行きやすいお寺です。正面入口は落ち着いた和の風情を漂わせています。

秋(9月)の常泉寺は、本堂へ向かう参道や庭園で羅漢さまを囲むように彼岸花やススキ等の草花が咲き、参拝者を楽しませてくれます。



また「清流山常泉寺」は水にゆかりのある名前で、庭園には色々な河童(河童七福神・考える河童・子育て河童・匂づくり河童・将棋河童・河童のつくばい等)の石像が飾られ、撮影スポットになっています。



私のお薦めの本

水野昂子(S35 文学部卒)

書名：なにがなんでも「ほがらか人生相談」

著者：鴻上尚史(こうがみ しょうじ) 朝日新聞出版 (定価 1540円)

8月末に「演劇やまと塾」の第32回公演「シンデレラストーリー」を無事に終えたが、この脚本こそ、同じ鴻上氏の傑作脚本です。

鴻上氏は1958年愛媛県に生まれ、早稲田大学卒業。在学中に劇団「第三舞台」を立ち上げ、活動し文学賞等も多数受賞。私が尊敬する演劇人の一人です。

御著書に書かれているなんでも相談の内容は、32人の悩み相談に回答し、頷けます。笑えます。でも、まじめな回答ばかり。後書きに、「人間は変われます。変われると思った人だけ変われます。」と。どうぞ一読を。Twitterも随時更新中。

会員の皆様には、日頃より大和稲門会に対してご支援ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

また、コロナ禍で行事の多くが自粛を余儀なくされております中、会費を納入戴いておりますことを心苦しく思っております。

さて、前年度末（令和4年9月30日現在）の年会費の納入状況は下記記載の通りとなっております。この所、会員の中で亡くなられた方や、高齢により体調を崩されたりした方が増加し、納入者数が減少致しております。現在新規会員の増強を図るべく諸策を講じ、会員減少に歯止めをかけたいと考えておりますので皆様のご協力をお願い致します。

- ・会費納入にあたりましては同封の郵便振込票をご利用ください。振込み手数料は当会で負担致します。
- ・銀行振込をご利用の方は下記口座にお振込下さい

横浜銀行中央林間支店 普通預金 口座番号 1155943 口座名義人 早稲田大学大和稲門会

- ・会費納入についてのお問い合わせは、会計担当 児浦義文までご連絡ください

電話番号 090-9333-4479 メールアドレス koura0114@jcom.home.ne.jp

(1) 令和4年度分（今年度分）の会費をいただいている方

石川 公広 岩本 武夫 遠藤三紀夫 大澤 善勝 小島 達之 柴田 哲也
 清水美加子 菅谷正一郎 関根 実 高田 博 三重野省二郎 滝本 幸男
 中丸 敬治 菟場 直一 古木 敏幸 保坂 保 橘川 泰一 水野 昂子
 小澤 重晴 田村 幸雄 村岡 猛 眞鍋 藤正 児浦 義文 以上 23 名

(2) 令和3年度分までの会費をいただいている方

中 晃 遠藤 廣 加藤 啓一 加藤 裕之 國方 隆 小坂 悟
 佐藤 洋子 佐藤 逸郎 鈴木 信義 土橋 仁志 宮崎 顯 佐竹 育子
 渡辺 伸明 中西 剛 池田健三郎 加藤 晴夫 杉山 充 杉山 光司
 上記の他 匿名希望 1名 以上 19名 (1) (2) 合計 42名
 (文責：児浦)

***** 「編集後記」 *****

この度、「稲門やまと第46号」を発行するはこびとなりました。
 今回は、会員の皆様に自由な題名で、短編の投稿を呼びかけたところ、7名の皆様から投稿が届き掲載することができました。

また、前号（第45号）から始めた「私のお薦めの場所、お店、本」紹介コーナーは、本号でも継続して設けることができました。こうして会員の皆様のご協力のお陰で発行できましたこと、感謝申し上げます。

次号は、本会の活動再開に伴い、記事内容も多彩になるものと思っておりますが、普段投稿してない会員の方からの投稿も期待しております。

(編集委員一同)